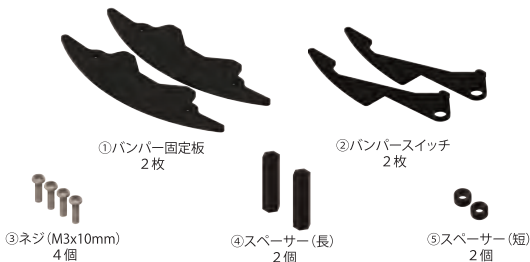


ハンダづけライトレーサー用バンパーセット

入っているものリスト



switch education

組み立て方 組立にはプラスドライバーが必要です

①バンパー固定板の穴にネジを2個通します。



② ①で穴に通したネジにバンパースイッチとスペーサー (短) を通します。反対側も同様に。



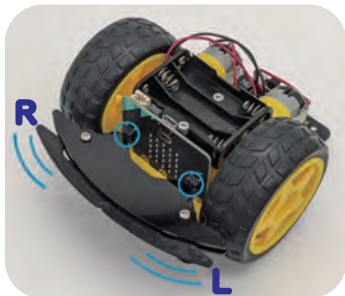
③バンパー固定板を重ねて穴にネジを通します。



④スペーサー (長) をとりつけてネジをしめます。



⑤ライトレーサーの基板にネジで固定したら完成です。



バンパースイッチが押されると micro:bit のボタンが押されます。

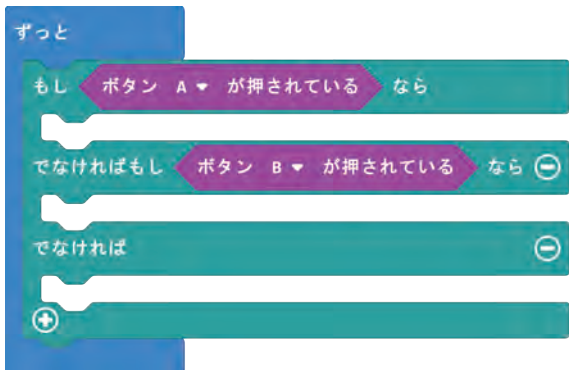
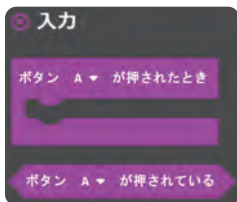
右 (R) バンパーが B ボタン、
左 (L) バンパーが A ボタンに対応しています。

プログラミング

バンパーが押されるとmicro:bitのボタンが押されます。それを利用して車が障害物にぶつかった事がわかるようになります。壁にぶつかったら進む方向を変えるようなプログラムを作ってみましょう。

micro:bitのボタン入力用のブロックは2種類あります。

「ボタンAが押されたとき」ブロックはボタンが押されてはなされたタイミングで実行されます。しかし、バンパーの場合車が壁に当たっている限りはボタンがはなされないの、実行されません。「ボタンAが押されている」ブロックを使用しましょう。



Aボタン(左バンパー)が押されているとき、Bボタン(右バンパー)が押されているとき、どちらも押されていないとき、それぞれの条件で車の動作を決めてプログラムを作ってみましょう。

サンプルプログラムは商品ページにあります。

<http://sedu.link/mb-lt-bumper>

